

Pioneer

STEREO HEADPHONES SE-MASTER 1

Pioneer



- 周囲の方の迷惑にならないよう、ご利用の際は音量の上げすぎにご注意ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中にヘッドホンは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

⚠ 安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

💡 省エネのための上手な使い方

1.こまめにスイッチを切りましょう。長時間使用しない場合は、コンセントを抜くことをおすすめします。2.適切な音量で楽しみましょう。3.就寝前は主電源を切りましょう。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。



表示を正しく
家電公取協会員

オンキヨーグループは、
適正な表示を推進しています。

●ヘッドホンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。●DSDは登録商標です。

お客様サポート <http://pioneer.jp/support/>

カタログや取扱説明書のダウンロード、よくあるお問い合わせなどの商品サポート情報のホームページです。カタログの送付申し込みもこちらから行えます。

オンキヨー & パイオニア イノベーションズ株式会社

鳥取本社: 〒682-0925 鳥取県倉吉市秋喜243番地
東京本社: 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目3番12号

カスタマーサポートセンター | ●家庭用オーディオ/ビジュアル商品のお問い合わせおよびカタログのご請求窓口 | ●FAX受付
0120-944-222 (無料) | 0570-037-620 (有料) | 0570-037-602 (有料)

〈ご注意〉「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHSの一部のIP電話などからは、ご利用になれません。「0570」で始まる電話番号は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。また一部IP電話などからはご利用になれません。

●営業時間/月曜～金曜9:30～18:00/土曜9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日除く)

●このカタログの内容についてのお問い合わせは、お近くの販売店へ、もし、販売店でおわかりにならない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへおたずねください。●このカタログに掲載の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。●写真の製品の色は、印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。●ハガキによるカタログの請求は希望商品名をご記入の上、〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号 パイオニアカスタマーサポートセンターへ、●ホームページにてカタログ請求も行ってください。●このカタログに記載のオープン価格の商品は、希望小売価格を定めています。

本カタログに記載の全商品の価格には、配送費・据付費・使用後の商品引きとり代金などは含まれておりません。
2015年3月2日よりパイオニアブランドのヘッドホン製品は、オンキヨー&パイオニア イノベーションズ株式会社に製造・販売を行います。

この印刷物には環境に配慮した植林木の用紙を使用しています。

取扱店

このカタログの記載内容は2015年3月現在のものです。
T503A


air studios
MONITOR REFERENCE


Hi-Res
AUDIO

音楽の感動を、あまねく、多くの人々に。
ひたむきな想いが、音づくりの系譜を貫く。

パイオニアの音づくりは「音楽の感動を、あまねく、多くの人々に」という

想いを原点に、「原音にひたすらに忠実な再生」を目指し、

国産初のダイナミックスピーカーA-8をはじめ、

革新的なオーディオ製品を80年近くにわたって生み出し続けてきました。

その原音を追求する姿勢は、ホーム用スピーカー、カー用スピーカー、

そしてヘッドホンでも何一つ変わることはありません。

パイオニアは総合オーディオメーカーとして日本でいち早くヘッドホン開発を手掛け、

1960年、ヘッドホン一号機SE-1を発売以来、半世紀以上の時代の中で

数々の画期的なヘッドホンを生み出してきました。

そして今、その連綿と受け継いできた音の系譜は、

ひとつの至高となり、新たな時代を拓きます。



1937
国産初・ダイナミックスピーカー A-8

その想いは
フラッグシップSE-MASTER1へと継承。
新たな歴史が紡がれる。



時代の先をいく技術を積み重ねた パイオニアヘッドホン半世紀の歴史。

1960



SE-1

パイオニアステレオヘッドホン第一号機。密閉型ダイナミック方式で、バイノーラル効果により立体感豊かな再生を実現。

1971



SE-100

静電型ヘッドホン。磁気回路を使用せず軽量、高音質でマニアから好評を博した。

1973



SE-205

コンシューマー向け密閉型ヘッドホン。205/255/305/405シリーズとして発売され、ロングヒットとなった。

1974



SE-700

世界初のハイポリマー素子応用ヘッドホン。イタリアの権威あるデザイン賞、「GOLD SIM」と「TOP FORM」を受賞。

1975



MONITOR 10

放送局向けモニター用高級ヘッドホン。オーディオ専門家やマニアの間でも高い評価を得た。

1977



SE-11 (Eleven)

パイオニア独自のバリアブルチャンパー方式オープンエア型ヘッドホンの高級機。極めて自然で、ダイナミックなサウンドを再生。

1979



SE-1000

高級静電型ヘッドホン。専用ヘッドホンアンプHA-1000と接続することで、静電型の澄みきった音質をフルに発揮し、高い評価を得た。

1980



MASTER-1G

バリアブルチャンパー方式オープンエア型ヘッドホン。培ってきたヘッドホンのノウハウをフルに投入したモデル。

時代を越えた哲学と技術の叡知を、その名に込めて。

フラッグシップモデル SE-MASTER1、誕生。



オープンエア型ダイナミックステレオヘッドホン
SE-MASTER1
オープン価格



Made in Japan

熟練マイスターのハンドメイドモデル

山形県天童市の東北パイオニア工場。

数多くのスピーカーの銘機を生み出してきたその地で、
パイオニアが持つ高い技術を惜しみなく注ぎ込んだSE-MASTER1。

設計から生産、品質管理を一貫して行い、

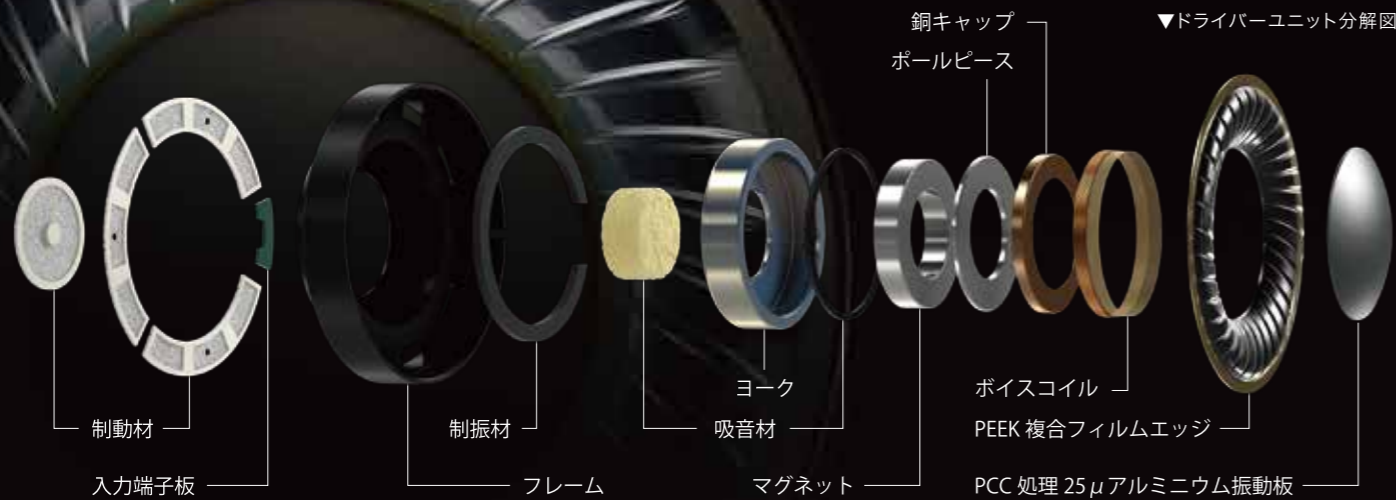
妥協のないクオリティに仕上げています。

一台一台、熟練した専任マイスターの手による緻密な組み立てによって

生み出されるフラッグシップモデルです。



手にした瞬間、最上の時間がはじまる。すべてはリスニングのために。



▼ドライバーユニット分解図

**PCC^{※1}処理を施した
25μアルミニウム振動板を採用**

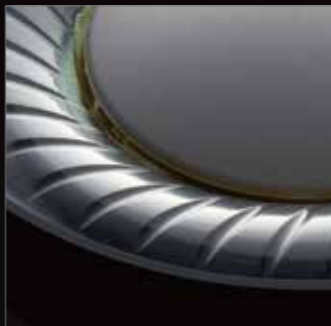
振動板には軽量で高剛性の25μ厚アルミニウムを採用。振動板にPCC処理を施すことでアルミニウム本来の性能を引き出し、高音質化を図っています。PCC処理は、アルミニウムの表面に高硬度のセラミックス皮膜を形成させる特殊な表面処理のことで、ヤング率^{※2}が高く、内部損失が大きいことが最大の長です。これにより、付帯音が少なく分解能の高いクリアでナチュラルな高域再生を実現します。

※1: Parker Ceramic Coatingの略。日本パーカライジング機製の特殊表面処理。
※2: 歪みに対する応力の大きさの値。この値が大きいほど剛性が高いことを示す。

**エッジ部にPEEK[※]複合フィルムを
採用し、極めて低歪みな音を実現**

エッジには高内部損失素材を使用した「PEEKフィルム複合材」を採用し、内部損失を大きくシリブ形状を最適化。振動板に求められる高剛性を確保しています。これにより、スムーズで歪みの極めて少ない周波数特性を実現します。

※Poly-ether-ether-ketoneの略。



**CAE[※]を用いた振動板と
磁気回路設計による高音質の実現**

CAE解析を用いて、振動板と磁気回路を設計。振動板はシミュレーション検証と試作を繰り返し、音質や特性を比較検証することで、最適な形状と材料を選定しました。磁気回路は、振幅時の駆動力低下率を測定することで高効率・低歪みの設計を行い、また、トッププレートには銅キャップを採用し中低音の歪みの原因となる磁気変調歪みを低減、よりクリアな音質を実現しています。

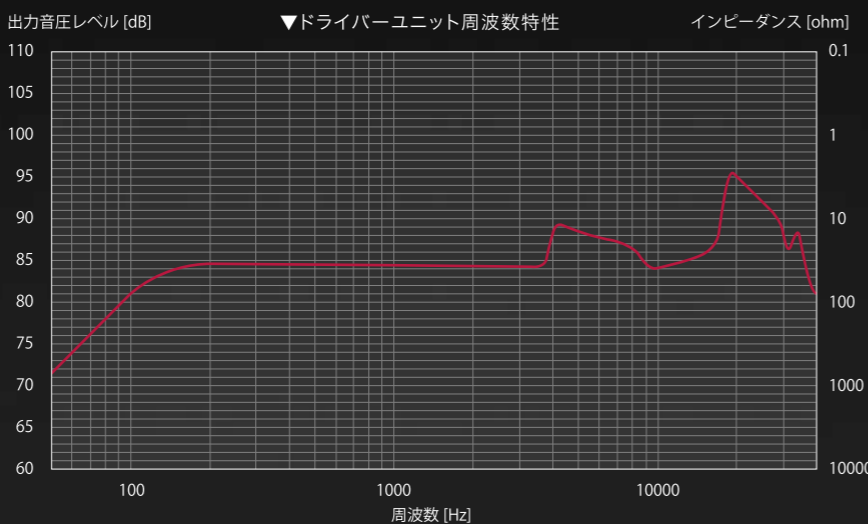
※Computer Aided Engineeringの略で、コンピューターによる設計開発のこと。



**再生周波数85,000Hzの
高域再生を実現**

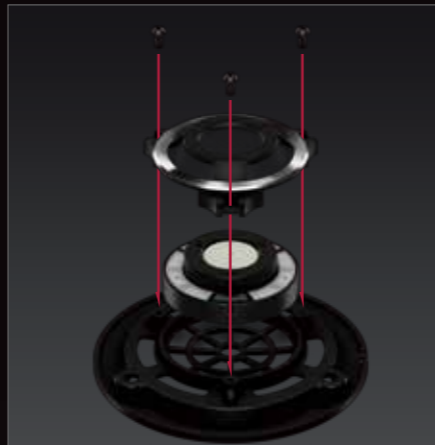
ヘッドホンにおけるハイレゾリューション音源の高域再生性能として定義されている40,000Hz以上[※]を大幅に上回る85,000Hzの高域再生を実現。ハイレゾリューション音源の感動を余すところなく再現します。

※一般社団法人 日本オーディオ協会が定めるヘッドホンのハイレゾリューションの定義による。



**不要な共振を低減する、
フルバスケット方式**

カー用スピーカーで培ってきたフルバスケット方式を採用しました。スピーカーユニットを背面から抱え込み、ベース部に固定する構造を採用することで、不要な共振を低減。アルミニウム素材の使用でより強固に固定したため、音の輪郭が明確になり、メリハリのある音を再生します。ベース部には耐候性に優れたASA樹脂を採用しています。



**軽量な超ジュラルミンバンド&ハンガー
により着け心地のよさを実現**

ヘッドバンド部とハンガーには自然な装着感と軽い掛け心地を実現するために、超ジュラルミン(A2024PT3)素材を採用。心地よい装着感で音楽に浸ることができます。



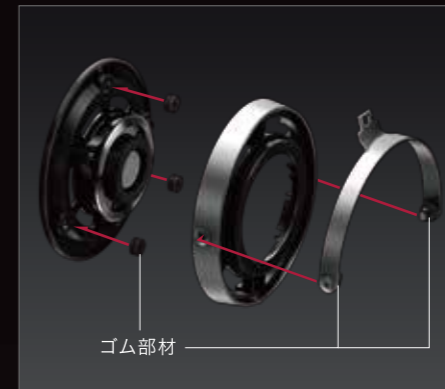
**着脱式側圧コントロール
構造を採用**

ヘッドホンの側圧を自分の好みに合わせて調整できる、着脱式の側圧コントロール構造を採用。側圧が強め/弱めの2タイプのテンションロッドを付け替えることで、お好みの側圧に調整できるため、長時間でも快適に音楽を楽しめます。



**クリアな低歪み特性を実現する
フローティング構造**

ホーム用スピーカーで培ってきたフローティング構造を採用しました。パーツの連結箇所ゴム部材を挟むことでL側、R側の相互の音の干渉を防ぎます。これにより、ベース部とハウジング部の間、ハウジング部とヘッドバンド・ハンガー部間にユニットの不要な振動が伝わることを防ぎ、筐体の不要な共振を低減。クリアでスムーズな歪みの少ない周波数特性を実現し、L側、R側のセパレーションが向上。音の分離感、立体感を高めています。



**スライド式ヘッドクッションで、
優れた装着性を実現**

内側面の表皮に柔らかな肌触りのスエード調の人工皮革素材、エクセーナ[※]を使用した幅広タイプのヘッドクッションを採用。3.5mm刻みでヘッドクッションを上下に14段階調節することができるため、お好みの位置で固定することができます。これにより、優れた装着安定性を実現します。

※エクセーナ[®]は、東レ株式会社の登録商標です。



**二種類の被覆素材を
使用した着脱式コード**

コード交換が可能な着脱式コードを採用。コネクターは、MMCXタイプを採用しました。また、プラグから分岐部までは布巻コード、分岐部から本体までは無鉛PVC被覆コードと、二種類の被覆素材を採用することで、タッチノイズの低減や堅牢性が向上。さらに、布巻コードは“からみ”や“よじれ”等の煩わしさも低減しています。



**不要な共振を最小限に抑え込む
アルミニウムハウジングを採用**

ハウジングに剛性の高い3.5mm厚のアルミニウム合金を採用し、ドライバーユニットの振動による不要な共振を最小限に抑え込みます。輪郭がくっきりした締まりのある低音と分解能の高い中高域を実現するとともに、リアルな空間描写を実現します。



**独自形状で快適な肌触りを
実現する立体形状イヤーパッド**

イヤーパッドは前頭部側が薄く、後頭部側が厚い形状で頭部にフィットしやすい独自の形状を実現。表皮は柔らかく肌触りの良いレザータイプ素材、内部には適度な硬さと変形性を持つ低反発ウレタンフォームを採用。頭部の形状に合わせて最適な形に変形することで側頭部にフィットするとともに快適な肌触りを追求しています。





世界最高峰の録音スタジオ AIR Studiosが認めたSE-MASTER1

SE-MASTER1は、世界最高峰の録音スタジオである
AIR Studiosでのチューニングセッションにより、
AIR Studios認証の最高評価である
「AIR Studios Monitor Reference」を取得しました。
ヘッドホンとしては世界で初めて*の獲得です。
それは、多くの著名アーティストのアルバム収録などを手掛ける
一流のサウンドエンジニアがSE-MASTER1のクオリティを認めた証です。

*2015年3月31日時点。ヘッドホンとして。
オンキヨー&パイオニア イノベーションズ調べ。

最高の耳を持つサウンドエンジニアとのセッションで 目指したのは、ひたすらに原音に忠実な音

SE-MASTER1の音質は、パイオニアのエンジニアと最高の耳を持つAIR Studiosのテクニカルディレクター、Tim Vine-Lott氏とのチューニングセッションにより上げています。Tim氏はリファレンスとするスピーカーシステムとSE-MASTER1を聴き比べながら課題を指摘し、エンジニアがそれに応えて音の調整を行いました。数時間かけて音質のチューニング作業を行った後、時間をかけて、確認。このような改良とチューニングの作業を妥協することなく繰り返し、原音に忠実な再生、細部の音まで明瞭な中域と純粋で開放感のある高域再生を実現し、SE-MASTER1は「AIR Studios Monitor Reference」をヘッドホンとして世界で初めて獲得しました。

AIR Studios <http://www.airstudios.com/>

数々の名作アルバムを手がけた名プロデューサーGeorge Martin卿が1969年、ロンドン郊外に創設。世界中の一流アーティストから世界最高峰の録音スタジオとして絶対的な信頼を集める。



AIR Studios テクニカルディレクター Mr.Tim Vine-Lott Special Interview

今回のチューニングセッションは、私にとって、とてもチャレンジングな体験でした。
これまでパイオニアと共同チューニングを行ってきたアンプやスピーカーシステムに比べて、ヘッドホンであるSE-MASTER1は完全に異なるプロセスをとったからです。
このヘッドホンにはアンプやスピーカーシステムにあるような調整可能な電子回路が一切なく、また、ドライバーユニットの背圧をコントロールする穴の大きさを変えるなどの少しの調整でも音が変わり、音質に予期せぬ影響を及ぼしてしまいます。
その難しさの中で、パイオニアのエンジニアとともに目指す音質を実現することができました。
私が今までパイオニアとともに多くのオーディオ製品のチューニングをしてきた中で、最も面白く、チャレンジングなプロジェクトの一つとなりました。
皆さんがSE-MASTER1の素晴らしい音を楽しんで聴いてくださることを願っています。



AIR Studios テクニカルディレクター Mr.Tim Vine-Lott

英国が誇る名門スタジオ、AIR Studiosを代表するテクニカルディレクター。
1989年よりAIR Studiosにて数多くのアーティストのアルバム制作、映画音楽のレコーディングに関わる。
厳しい音質基準をクリアしたAV製品に対し「AIR Studios認証」を与える責任者を務め、アンプ、スピーカーシステムなどパイオニアとの共同チューニングを行っている。

ヘッドホンの音を、さらなる頂に導く。

デジタル音源の音質を決定付けるために最も重要なのは、D/A変換技術の精度です。U-05のDAC部には妥協のない設計を施し、フルバランスヘッドホンアンプ回路との組み合わせで高解像度サウンドの圧倒的な再現力に到達します。

ヘッドホンアンプ内蔵型USB DAC
U-05
希望小売価格105,000円(税別)



DSD Direct Stream Digital **Hi-Res AUDIO** *U-05の機能詳細はこちらをご覧ください。
http://pioneer.jp/av_pc/components/usb_dac/u-05/



SE-MASTER1仕様

型式	オープンエア型ダイナミック(前面密閉/背面開放型ダイナミック)	接続コード	OFCリッツ線 3.0 m
使用ユニット	φ50 mm (ネオジウムマグネット)	プラグ	φ6.3 mm ステレオ標準プラグ(金メッキ)
出力音圧レベル	94 dB	質量	460 g (コード、テンションロッド含まず)
再生周波数帯域	5 Hz ~ 85 000 Hz	付属品	テンションロッドA(φ1.6 mm/梱包時本体取付) テンションロッドB(φ2.0 mm)
最大入力	1 500 mW (JEITA)	JANコード	4988028279904
インピーダンス	45 Ω		

一台一台にシリアルナンバーを刻印

SE-MASTER1には一台一台、シリアルナンバーが刻印されています。あなただけの特別なヘッドホンとして、所有する喜びをいっそう高めます。



オプション バランス接続で楽しむ方に、 SE-MASTER1専用別売バランスケーブル

バランス駆動対応ヘッドホンアンプとSE-MASTER1の性能をさらに引き出す、3極XLR端子採用の専用ケーブル(オプション)。SE-MASTER1に最適な音質と高耐久性を実現しています。本体側にMMCXコネクタ、機器側にNEUTRIK社製XLRコネクタを採用し、ともに金メッキを施すことで接触ロスを低減します。



SE-MASTER1用ヘッドホンケーブル
JCA-XLR30M (3.0mケーブル)
オープン価格

SE-MASTER1の魅力をご紹介するWEBサイトはこちら

<http://pioneer-headphones.com/japanese/se-master1/>